



# 県病医療ニュース

病院機能評価3rdG:Ver2.0認定病院

〒870-8511 大分市豊饒二丁目8番1号 TEL097-546-7111(代表) 内線7712:県病ニュース係



※当ニュースへのご意見・ご感想は県病ウェブサイトをご利用ください。

大分県立病院ウェブサイトはこちら

## 膠原病。 リウマチ内科

## 不明熱 長い期間にわたり 発熱があるのに原因がわからない

患者さんの中には長期間、場合によっては数か月にわたり周期的にあるいは持続的に発熱があるのに原因がわからず困っている方がいらっしゃいます。

そのような状態を医学的には**不明熱**と呼んでいます。この不明熱は最終的にどのような病気と診断されるのでしょうか。一般的には地域の診療所や中規模病院に受診された不明熱の原因は大半が感染症であろうと思いますが、原因がわからない場合は大きな病院に紹介されることになると思います。

それでは地域の病院では原因不明で、大きな病院に紹介されて受診する不明熱の原因はどのようなものでしょうか。これは右上のグラフのように分類されています。大学病院規模の大きな施設で検査しても、なおかつ原因不明の発熱が23%もあることに驚かれる方もいらっしゃるかもしれません。

このように今まで原因不明となっていた発熱、特に数か月以上にわたって周期的に発熱がある患者さんの中の一部に**家族性地中海熱**と呼ばれる病気の方がいることがわかってきました。

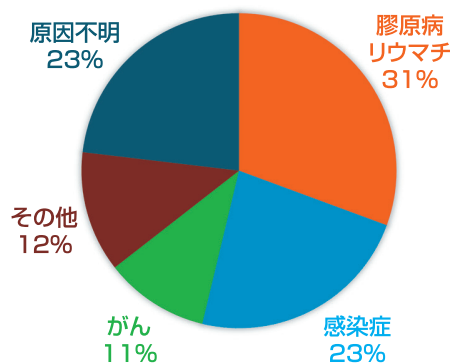
家族性地中海熱は名前の通り地中海沿岸の人たちに多い病気ですが、日本人でも見られます。典型的には数週間から1か月に1回程度38度以上の発熱があり、4日以内におさまることを繰り返します。発熱時には胸やお腹の痛み、関節痛などを伴うことが多いとされていますが、あまり痛くない患者さんもいます。地中海沿岸に住む患者さんたちは家族性という名前の通りご家族に同様の症状がある場合が多いのですが、日本人ではご家族に症状がなく患者さん本人のみの場合もたくさんあります。

家族性地中海熱の診断はその症状の経過と、発熱時は炎症反応が上がるが発熱がない時は完全に正常化するという特徴的な血液検査のパターン、さらには**コルヒチン**という薬が効くかどうかで判定します。

コルヒチンはイヌサフランという植物から抽出された昔からある薬で、古くから痛風という病気に使われていたものです。このコルヒチンを一日1錠から4錠内服することで発熱などの発作が抑えられますが、やめると症状が出ますので長期の内服が必要です。

長い間、周期的な発熱がある患者さんは原因を調べることができるかもしれませんのでかかりつけの先生に膠原病内科、リウマチ科への受診をご相談下さい。(膠原病・リウマチ内科 部長 柴富 和貴)

大規模病院の外来に受診する不明熱の原因



内藤ら BMJOpen 2013より引用



イヌサフランの花

## 陥入爪 ingrown nail

爪（爪甲）の角が皮膚に食い込んでいる状態。爪によって皮膚が傷つき、感染して腫れる、膿が出る、痛いなどの症状を伴うことがある。

<原因>・深爪（爪の切りすぎ）・窮屈な靴 など

<予防>①爪を伸ばす：爪の先端が指の先端を超えていることが重要  
②足に合わない靴を履かない

<治療>①ガター法

- ・食い込んでいる爪の下に板を敷いて、爪が皮膚に食い込まないようにする方法
- ・2～3ヶ月程度、爪が伸びるまで行う

②フェノール法（手術）

- ・食い込んでいる部分の爪を除去し、爪母（爪の生えてくる根元）を薬品で焼灼し、その部分の爪が生えてこないようにする
- ・爪の幅が狭くなる
- ・1～1.5ヶ月程度、傷の処置が必要 など



## 巻き爪 pincer nail

爪（爪甲）の先端が丸くなり、爪床（爪がのっている部分）を挟み込んでいる状態。

<原因>・不明（窮屈な靴やハイヒールなどがいわれている）  
・まれに爪下外骨腫や爪甲下角質増殖など

<予防>足に合わない靴を履かない

<治療>①ワイヤー法（自費診療）

- ・形状記憶ワイヤーを用いて、爪の彎曲（丸まり）を矯正する方法
- ・2～3ヶ月程度かけて矯正する。爪が伸びたら、入れ替える。
- ・外すと後戻りすることがある

②爪床形成術（手術）

- ・爪（爪甲）を除去し、変形した爪床の形状を整える方法
- ・爪は4～6ヶ月程度で生えてくる
- ・2～3週間程度、傷の処置が必要 など



※大分県立病院形成外科では、上記治療を中心に、個々の症例に合った治療を提案しています。

（形成外科 部長 加藤 愛子）



看護師ほか医療スタッフの  
臨時職員を募集しています。  
詳しくはこちら